



交通機関

J R常磐線土浦駅

J R常磐線土浦駅

○連絡コースには標識などは設けておらず、また自動車等の交通量も多いので、接続するコースに移動する場合は注意をしてください。

□ 行事

- 流鏝馬祭（日枝神社） 毎年4月第1日曜日
- からかさ万灯（鷹神社） 毎年8月15日

□ 公的宿泊施設 & 資料館

- 県立中央青年の家 茨城県新治郡新治村永井 Tel.029-862-3500
- 小町の館（新治村観光協会） 茨城県新治郡新治村大字小野 491 Tel.0298-26-4829

楽しいハイキングのために

- 野の花や木は、自然の中でこそ美しいです。自然のままに残しましょう。
- 歩きながらの「タバコ」はやめましょう。火の元には十分注意しましょう。
- あとから来る人のために、自分のごみは自分で持ち帰りましょう。
- 案内板や標識はみんなの道しるべです。大切にしましょう。
- 交通の不便なところがあります。あらかじめよく調べておきましょう。

コースのみどころ

このみちは…

田土部地区と永井地区を起終点とするこのコースは、由緒深い神社仏閣を訪ねて歴史を学ぶことのできる延長約18kmの一般向けの歩道です。



清滝観音

南明山清滝寺は、大同年間（806～810）徳一大師により開基された真言宗豊山派の寺です。坂東26番札所として有名で、江戸時代に建てられた朱塗りの仁王門が、昔日の面影を残しています。

坂東三十三カ所観音霊場

県内には6カ所の札所があります。

- 第21番八溝山日輪寺（大子） 第22番妙福山佐竹寺（常陸太田）
- 第23番佐白山観世音寺（笠間） 第24番雨引山薬法寺（大和）
- 第25番筑波山大御堂（つくば） 第26番南明山清滝寺（新治）

白枝神社

大同2年（807）近国坂本（現・滋賀県大津市）の日吉神社の神霊を分けて祀ったのが起源とされ、神社は大山作命で農業の神様として信仰を集め、一般に沢辺の山王様と呼ばれています。毎年4月第1日曜日に古式豊かに行われる「流鏝馬」は有名です。

東城寺



朝望山東城寺は、延暦15年（796）最上人が常陸の国天台宗の根本道場として開基した由緒ある寺です。鎌倉時代に小田氏により真言宗に改め、小田氏の祈願寺として保護されてきましたが、天正年間（1570～1592）の兵乱で小田氏は佐竹氏に滅ぼされ寺の保護をなくしました。薬師堂は慶安年間（1648～1652）に再建されたもので、本尊の薬師如来や両脇侍像は県指定の文化財です。

法雲寺

大雄山法雲寺（正受庵）は、嘉暦元年（1326）中峰国師の開基と伝えられ、弟子の大光禪師復庵宗己が道場を建立した臨済宗建長寺派の寺です。境内は城郭造りで有名です。

向上庵

法雲寺の支院で、自然の地形を生かした築山がすばらしく、ことに樹齢300年と推定される「しだれ桜」は、県の天然記念物に指定されています。また、南天の赤い実が赴きある風情を見せており、別名「南天寺」とも呼ばれています。

茨城県生活環境部環境政策課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978-6

Tel. 029-301-2946

新治村観光協会（小町の館）

〒300-4108 茨城県新治郡新治村小野 491

Tel. 029-862-1002

関東ふれあいの道ホームページ

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/seikan/kansei/05furusato/0502.html>



関東ふれあいの道

寺社めぐりと

田園風景の道

茨城県14

永井バス停～田土部バス停



向上庵

関東ふれあいの道は、

首都圏に残された美しい自然や歴史文化遺産などを”みち”で結び、

首都圏を一周する長距離自然歩道です。

茨城県内のルートは、常陸大宮市から御前山県立自然公園、笠間県立自然公園、

水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て稲敷市へ至る延長約255kmで、

18コースにより構成されています。

家族や友人と一緒に歩きませんか。



茨城県